

共焦点レーザ走査型顕微鏡 オリンパス FV1200 使用説明会の御案内

■ 説明会日時：2016年4月15日（金）13:30 ～ 16:30

■ 開催場所：藤井節郎記念医科学センター 3階

（説明：オリンパス株式会社 科学ソリューション営業部 仁平貴久）

◆説明会概要

オリンパス製共焦点レーザ走査型顕微鏡FV1200が導入されて2年が経過しました。この間に、オートフォーカス機能およびCO₂インキュベータが増設され、従来の高精細なXYZ画像取得に加え、長時間のタイムラプスが可能になりました。さらに、超高感度ディテクタ・超解像イメージングシステム追加により、従来システムでは困難だった微弱蛍光や微細構造の画像取得が可能となり、様々なアプリケーションに対応可能となりました。この機会に装置の各機能をご理解・ご活用頂きたく、皆様のご参加をお待ちしております。

➤ 共焦点レーザ走査型顕微鏡 FV1200の特徴

◆長時間タイムラプス対応

・・・Zドリフトコンペンセータ+CO₂インキュベータ

温度変化によるフォーカスずれに影響されることなくフォーカスを連続的に維持し、CO₂インキュベータにより長時間の細胞培養観察が実現
電動ステージ機能を使用し、マルチポイントタイムラプスでの画像取得も可能

◆高感度検出・・・超高感度ディテクタGaAsp PMT

最大45%に量子効率を高め、ペルチエ冷却によりノイズを20%抑えた検出器を2CH搭載、微弱蛍光検出のほか、励起光を従来観察時より抑えることで、標本へのダメージも減少でき、S/N比の高い画像取得が可能

◆超解像イメージングシステム

独自技術による超解像領域の周波数成分の取込みにより、最大120nmの分解能を実現、共焦点と超解像の観察モード切換はワンクリックで可能



• FV1200-IX83
超高感度ディテクタ仕様